



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月9日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東  
 コード番号 7228 URL <https://www.daytona.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538(84)2200  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	3,172	3.7	343	△8.2	302	△23.9	206	△26.0
2022年12月期第1四半期	3,058	22.5	373	23.0	397	28.0	279	16.3

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 211百万円(△25.5%) 2022年12月期第1四半期 283百万円(17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	87.57	83.79
2022年12月期第1四半期	119.34	113.74

四半期連結経営成績に関する注記

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	9,844	6,658	66.7
2022年12月期	9,642	6,737	69.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 6,569百万円 2022年12月期 6,649百万円

四半期連結財政状態に関する注記

四半期連結業績に関する注記

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	123.00	123.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	121.00	121.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,230	3.7	921	△4.8	895	△11.2	610	△11.2	258.27
通期	15,359	5.3	2,132	3.7	2,129	0.6	1,435	0.1	607.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年12月期 1 Q	3,604,600株	2022年12月期	3,604,600株
2023年12月期 1 Q	1,241,960株	2022年12月期	1,241,960株
2023年12月期 1 Q	2,362,640株	2022年12月期 1 Q	2,344,053株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、行動制限の解除による人流の増加と共に景気の緩やかな回復傾向が続く状況となりました。一方で資源や食品などの物価上昇が続き、消費者心理の冷え込みが懸念される状況となりました。

二輪車業界では、本格的シーズンインを前に大阪、東京モーターサイクルショーが3月に開催され、各車両メーカーの新車の展示や多くの部品用品メーカーの出展もあり、来場者は前年を上回る活況となりました。

このような環境の中、当社グループにおいては、国内拠点卸売事業の受注・出荷や小売店舗での来店客数には落ち着きが見られ、行動制限の解除後のユーザーの余暇時間の使い方や消費行動の変化を感じる状況となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は31億72百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は3億43百万円（前年同四半期比8.2%減）、経常利益は3億2百万円（前年同四半期比23.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

## [国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業は、(株)デイトナと(株)ダートフリークの卸売事業で構成しております。販売については、ユーザーの消費行動の変化等により流通各社の在庫調整の動きもみられる状況となりました。また、仕入れコスト上昇への対処として主要商品の価格改定を進めたことで利益率の改善は進んでおりますが、第1四半期は値上げ前の駆け込み需要とその後の反動減を繰り返す期間となり、市場の変化と併せて先行きが見通しにくい状況となりました。

この結果、売上高は23億43百万円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント利益は2億38百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

## [アジア拠点卸売事業]

インドネシアに拠点を持つアジア拠点卸売事業では、インドネシア国内の新車販売台数の回復傾向もみられる中、商品販売網の整備や主要商品の認知も進み、好調な販売が続きました。

この結果、売上高は2億17百万円（前年同四半期比107.7%増）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比134.2%増）となりました。

## [小売事業]

小売事業において第1四半期は、来店客数の減少、レジ通過客数の減少が見られる一方、ヘルメットなど供給不足が続いた商品の販売金額やピット工賃などは前年を上回りました。お客様の行動や市場環境の変化が大きくなっており、これらの変化とニーズへの対応が求められる状況となりました。

この結果、売上高は5億53百万円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益は26百万円（前年同四半期比27.4%減）となりました。

## [その他]

その他事業の太陽光発電事業では、日照時間等は前年同期並みの推移となりました。リユースWEB事業では、中古部品販売売上は前年同期並みでしたが、賃貸倉庫のスペース拡張や人材投資による経費の増加により利益は減少しました。

この結果、その他事業全体の売上高は87百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2.9%増加し、72億64百万円となりました。これは、現金及び預金が2億12百万円減少しましたが、棚卸資産が4億81百万円増加したことなどによります。

### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.1%減少し、25億80百万円となりました。これは、有形固定資産が3百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加し、98億44百万円となりました。

### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9.5%増加し、26億円となりました。これは、買掛金が2億11百万円増加したことなどによります。

### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10.6%増加し、5億86百万円となりました。これは、長期借入金が27百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億82百万円増加し、31億86百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1.2%減少し、66億58百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期経過の現時点では2023年2月14日の当初公表の業績予想に変更はございません。

新型コロナウイルス感染症の発生により、密を避ける乗り物として二輪車販売が増加し、新規免許取得者も増加するなど市場の拡大と趣味としての定着が見られました。一方で新型コロナウイルス感染症への対応が進み、行動制限も解除されたことで、余暇時間の利用には多様性が戻りつつあります。バイク用品店では昨年の夏以降から来店客数の減少傾向が見られ、流通各社においては原材料不足や納期遅延による販売ロスを避けるために積み増した商品の在庫調整の動きも見られます。また最近の物価上昇や円安等への対応として価格改定を進めてまいりましたので、今後のユーザーの購買行動への影響も経過を慎重に見守る必要があります。

当社グループにおいては、小売事業にやや落ち込みが見られ、国内拠点卸売事業でも直近では減少傾向が見られますが、累計ではほぼ想定通りの推移となっております。

今期は車両メーカーから新型車の投入もあり、新車購入時の用品購入などの効果も想定されるところです。現段階ではこれらの環境変化の不確実な要素も多く先行きが見通しにくい状況です。

今後の状況の変化により、業績への大きな影響が推測される場合には業績予想を修正してお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,127,664	915,179
受取手形及び売掛金	1,436,334	1,319,480
棚卸資産	3,934,124	4,415,678
その他	568,252	620,300
貸倒引当金	△5,989	△5,902
流動資産合計	7,060,386	7,264,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	485,257	474,633
土地	864,134	864,391
その他(純額)	405,765	413,050
有形固定資産合計	1,755,156	1,752,075
無形固定資産		
のれん	325,269	309,005
その他	52,185	55,225
無形固定資産合計	377,454	364,231
投資その他の資産		
その他	452,769	467,276
貸倒引当金	△3,396	△3,396
投資その他の資産合計	449,372	463,879
固定資産合計	2,581,983	2,580,186
資産合計	9,642,369	9,844,923
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	418,373	630,126
短期借入金	790,114	927,253
1年内返済予定の長期借入金	233,832	246,258
未払法人税等	345,151	158,738
賞与引当金	90,801	129,614
株主優待引当金	21,438	11,343
その他	474,271	496,670
流動負債合計	2,373,982	2,600,006
固定負債		
長期借入金	491,143	518,347
退職給付に係る負債	1,702	1,808
その他	37,893	66,713
固定負債合計	530,739	586,868
負債合計	2,904,722	3,186,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	511,857	511,857
利益剰余金	6,368,794	6,285,108
自己株式	△619,867	△619,867
株主資本合計	6,673,240	6,589,554
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△23,437	△20,097
その他の包括利益累計額合計	△23,437	△20,097
新株予約権	73,956	73,956
非支配株主持分	13,888	14,635
純資産合計	6,737,647	6,658,048
負債純資産合計	9,642,369	9,844,923

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,058,744	3,172,875
売上原価	1,793,563	1,912,425
売上総利益	1,265,181	1,260,449
販売費及び一般管理費	891,310	917,265
営業利益	373,870	343,184
営業外収益		
受取手数料	3,646	2,606
デリバティブ評価益	8,876	-
為替差益	10,229	-
試作品等売却代	1,229	3,100
その他	2,358	4,170
営業外収益合計	26,341	9,877
営業外費用		
支払利息	2,125	2,356
デリバティブ評価損	-	45,905
その他	631	2,144
営業外費用合計	2,756	50,407
経常利益	397,455	302,654
特別利益		
固定資産売却益	102	1,309
特別利益合計	102	1,309
特別損失		
固定資産除却損	33	-
特別損失合計	33	-
税金等調整前四半期純利益	397,525	303,964
法人税、住民税及び事業税	122,273	119,890
法人税等調整額	△5,920	△23,577
法人税等合計	116,353	96,313
四半期純利益	281,171	207,651
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,425	732
親会社株主に帰属する四半期純利益	279,746	206,918



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	281,171	207,651
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,905	3,354
その他の包括利益合計	1,905	3,354
四半期包括利益	283,077	211,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,644	210,258
非支配株主に係る四半期包括利益	1,433	747

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠 点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じ る収益	2,289,481	104,770	578,574	2,972,826	85,917	3,058,744	—	3,058,744
外部顧客への売上高	2,289,481	104,770	578,574	2,972,826	85,917	3,058,744	—	3,058,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,856	—	426	41,283	—	41,283	△41,283	—
計	2,330,338	104,770	579,001	3,014,110	85,917	3,100,027	△41,283	3,058,744
セグメント利益	299,195	24,218	36,483	359,898	12,161	372,059	1,810	373,870

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2. セグメント利益の調整額1,810千円には、セグメント間取引消去3,267千円、棚卸資産調整額△1,593千円、固定資産調整額137千円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠 点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じ る収益	2,314,993	217,611	553,082	3,085,687	87,187	3,172,875	—	3,172,875
外部顧客への売上高	2,314,993	217,611	553,082	3,085,687	87,187	3,172,875	—	3,172,875
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,571	—	208	28,780	—	28,780	△28,780	—
計	2,343,565	217,611	553,291	3,114,467	87,187	3,201,655	△28,780	3,172,875
セグメント利益	238,269	56,721	26,470	321,460	9,615	331,075	12,109	343,184

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。
2. セグメント利益の調整額12,109千円には、セグメント間取引消去8,204千円、棚卸資産調整額3,801千円、固定資産調整額103千円等が含まれております。
  3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。